

農林水産省 (秘)

総務省承認	No. 2 5 9 3 1
承認期限	平成17年3月31日まで

指標コード					
局・ 取り まとめ センター	市区 町村 コード	調査区番号	業種コード	客体番号	従業者 規模別 コード

平成16年度食品産業動向調査

トレーサビリティシステムの導入・実施状況等の実態調査票

(食 品 製 造 業 者 用)

この調査は、農林水産省が統計報告調整法第4条第1項の規定に基づき総務大臣の承認を受けた承認統計として実施するものです。

また、この調査票は秘密扱いとし、統計以外の目的に使うことはありませんので、ありのままを記入してください。

(1) 企 業 名	(フリガナ)	
(2) 記入者所属 部署及び氏名	所属部署	(フリガナ)
		氏 名
(3) 電 話 番 号	代表番号 () 局	番 (内線)

- ☆ 上記の「記入者所属部署及び氏名」と「電話番号」について記入してください。
- ☆ 上記の企業名に誤りがありましたら、正しい名称に修正してください。
- ☆ 調査票の記入に当たっては、別冊の「調査票の記入の仕方」に従って、黒又は青のボールペンではっきりと記入してください。

問合せ先

名 称 : _____

住 所 : _____

担当者名 : _____

電話番号 : _____ F A X 番号 : _____

貴社において、支社、支店、営業所、店舗等を持つ場合は、企業全体における状況や意向等についてお答えください。

I 貴社の概要について

問 1 平成16年中（平成16年1月～16年12月）に到来した直近の決算日前1年間の食品の販売総額（税込み）について、該当する番号を1つ選択して○で囲んでください。

（1つ選択）

1	5,000万円未満	4	10億円～50億円未満
2	5,000万円～1億円未満	5	50億円～100億円未満
3	1億円～10億円未満	6	100億円以上

問 2 平成17年1月1日現在の従業者数（常用雇用者）について、該当する番号を1つ選択して○で囲んでください。

（1つ選択）

1	0～4人	4	20～49人
2	5～9人	5	50～99人
3	10～19人	6	100人以上

注：常用雇用者とは、期間を定めずに雇用されている人、若しくは1か月を超える期間を定めて雇用されている人をいいます。

本調査におけるトレーサビリティシステムとは

製造した食品（製品）が、いつ、どこから仕入れた原材料で、いつ、どこで製造され、いつ、どこへ出荷したのか荷姿（ロット等）により特定できることを本調査ではトレーサビリティシステムが導入されていると定義します。

II 貴社におけるトレーサビリティシステムについて（平成17年1月1日現在）

問 3 トレーサビリティシステムの現在の導入状況について、該当する番号を1つ選択して○で囲んでください。

（1つ選択）

1	すべての食品（製品）に導入している
2	一部の食品（製品）に導入している
3	今後導入する予定である（システムの構築等に着手）
4	導入を検討中である（導入のため検討中）
5	導入する予定はない（社内で検討した結果導入の予定はない）
6	導入するかわからない（導入するかしないかわからない）

問 4 へ
お進みください

6 ページの
問14、15のみ
お答えください

問 4 トレーサビリティシステムを導入した（又は導入しようとする）理由について、該当する番号をすべて選択して○で囲んでください。

（複数選択可）

1	消費者の安全・安心意識の高まりへの対応
2	取引先からの要求への対応
3	貴社の製造製品の安全性及び品質の向上への対応
4	販売戦略、事業戦略の一環
5	行政施策への対応
6	その他（具体的に： ）

問5 食品の遡及、追跡について

貴社で製造している食品のうち、トレーサビリティシステムを導入している（又は導入を予定している）食品について、仕入れ原材料の情報（流通されてきた経路）は、どこまでさかのぼること（遡及）が可能で、出荷された食品はどこまで追跡（自社製品の出荷先の特定）することが可能ですか。（又はどこまで遡及・追跡できるシステムにする予定ですか。）

それぞれ該当する番号を○で囲んでください。

（仕入先及び出荷先が複数該当する場合はそれぞれ回答願います。また、一部の食品（製品）で導入している（問3で2に該当）場合は、現在導入している食品（製品）に限って回答願います。）

（複数選択可）

品 目			原材料の仕入先の遡及範囲				製造した食品の出荷先の追跡範囲			
			1 生産者から直接仕入	生産者から直接仕入以外の仕入			5 小売・外食産業へ直接出荷	小売・外食産業へ直接出荷以外の出荷		
				2 生産者まで	3 直前の仕入先まで	4 その他（2、3以外）の範囲まで		6 小売・外食店等の最終出荷先まで	7 直後の出荷先まで	8 その他（6、7以外）の範囲まで
仕 入 原 材 料	米		1	2	3	4				
	麦		1	2	3	4				
	野菜類		1	2	3	4				
	果実類		1	2	3	4				
	豚肉			2	3	4				
	鶏肉			2	3	4				
	鶏卵		1	2	3	4				
	豆類		1	2	3	4				
	養殖水産物		1	2	3	4				
出 荷 製 造 食 品	農 産 加 工 食 品	野菜缶詰・瓶詰					5	6	7	8
		果実缶詰・瓶詰					5	6	7	8
		つけもの					5	6	7	8
		野菜冷凍食品					5	6	7	8
		果実冷凍食品					5	6	7	8
		めん・パン類					5	6	7	8
		穀類加工品					5	6	7	8
		菓子類					5	6	7	8
		その他					5	6	7	8
	畜 加 工 食 産 品	肉製品					5	6	7	8
		乳製品					5	6	7	8
		その他					5	6	7	8
	水 産 加 工 食 品	水産缶詰・瓶詰					5	6	7	8
		ねり製品					5	6	7	8
		水産物冷凍食品					5	6	7	8
		その他					5	6	7	8
	調 味 料	みそ・醤油					5	6	7	8
		ソース					5	6	7	8
		食酢					5	6	7	8
		その他					5	6	7	8
	動植物油脂						5	6	7	8

注1：直後の出荷先が小売店や外食産業など直接消費者に渡る出荷先の場合は、「5小売・外食産業へ直接出荷」に該当します。

問6 トレーサビリティシステムで記録・保管している（又は記録・保管しようと考えている）情報の内容について、該当する番号をすべて選択して○で囲んでください。

（複数選択可）

1	原材料の栽培管理情報	7	製造した食品の品質検査情報
2	原材料の仕入れ年月日	8	製造した食品の出荷年月日
3	原材料の仕入先名	9	製造した食品の出荷先名
4	原材料の仕入れ量	10	製造した食品の出荷量
5	製造した食品の製造年月日又は賞味期限	11	製造した食品の輸配送情報
6	製造した食品の製造場所	12	その他の情報

問7 情報を記録・保管している（又は記録・保管しようと考えている）方法について、該当する番号を1つ選択して○で囲んでください。

（1つ選択）

1	パソコンを活用したシステム	問8へお進みください。
2	パソコンを活用したシステムと紙媒体（伝票、帳簿等）の併用	
3	紙媒体（伝票、帳簿等）	

→ 問9へお進みください。

問8 問7で、1又は2と回答された方にお聞きします。記録・保管で用いているシステムの連携している（又は連携を考えている）範囲について、該当する番号を1つ選択して○で囲んでください。

（1つ選択）

1	貴社と仕入先
2	貴社と出荷先
3	貴社と仕入先及び出荷先
4	貴社と仕入先以前の生産段階まで及び出荷先以降の小売段階までの範囲
5	共同では行っていない（連携は行っていない）
6	その他（具体的に：_____）

注：システムの連携とは、仕入先、出荷先とネットワークで結ばれ、その範囲では記録・保管しているデータの閲覧等が可能であることをいいます。

問9 記録・保管している（又は記録・保管しようと考えている）情報の、①仕入先からの伝達方法（又は予定している方法）②出荷先への伝達方法（又は予定している方法）について、該当する番号をすべて選択して○で囲んでください。

①仕入先からの伝達方法

（複数選択可）

1	紙による方法（伝票等）
2	包装資材への文字表示（仕入食品への表示）
3	バーコードによる方法
4	二次元コードによる方法
5	電子タグ（I Cタグ）による方法
6	その他（具体的に：_____）

②出荷先への伝達方法

（複数選択可）

1	紙による方法（伝票等）
2	包装資材への文字表示（出荷食品への表示）
3	バーコードによる方法
4	二次元コードによる方法
5	電子タグ（I Cタグ）による方法
6	その他（具体的に：_____）

問10 記録・保管している情報の一般消費者への開示（又は開示しようと考えている）状況について、該当する番号をすべて選択して○で囲んでください。

（複数選択可）

1	インターネット上のホームページで開示している
2	ラベル表示（紙）で開示している
3	照会窓口を設け、電話・FAX・Eメール等で開示している
4	その他の方法で開示している（具体的に：_____）
5	開示はしていないが、照会があった場合は開示する
6	開示していない

問3で「3 導入予定」又は「4 検討中」と回答した方は問15へお進みください。

問15へ
お進みください

問3で「1 すべての食品（製品）に導入している」又は「2 一部の食品（製品）に導入している」と回答した方にお聞きします。

▶ 問11 トレーサビリティシステムの導入後に生じた効果について、該当する番号をすべて選択して○で囲んでください。

（複数選択可）

1	売り上げの増加
2	在庫管理等の管理業務の効率化及び仕入れ経費の削減等
3	取引先との信頼関係強化
4	企業ブランドのイメージアップ
5	従業員の安全意識の向上
6	製造過程におけるリスク管理の効率化
7	取引先等からの照会に対する迅速かつ効率的な対応
8	特になし
9	わからない
10	その他（具体的に：_____）

▶ 問12 トレーサビリティシステムの導入時に生じた問題点について、該当する番号をすべて選択して○で囲んでください。

（複数選択可）

1	システム構築のための経費
2	システム構築のための取引先との合意取得等
3	システム構築のための情報、知識等の欠如
4	システム構築のための専門スタッフの確保
5	特になし
6	その他（具体的に：_____）

▶ 問13 トレーサビリティシステムの導入後に生じた問題点について、該当する番号をすべて選択して○で囲んでください。

（複数選択可）

1	システム障害の多発
2	取引先と調整及び連携の不足
3	社員の教育・研修等の不足
4	経費の増加
5	特になし
6	わからない
7	その他（具体的に：_____）

問3で「1 すべての食品（製品）に導入している」又は「2 一部の食品（製品）に導入している」と回答した方への質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

問3で「5予定はない」又は「6わからない」と回答した方にお聞きします。

問14 トレーサビリティシステムの導入の必要性について、該当する番号を1つ選択して○で囲んでください。

(1つ選択)

1	導入の必要性を感じている
2	導入の必要性を感じていない

問3で「3導入予定」、「4検討中」、「5予定はない」、「6わからない」と回答した方にお聞きします。

問15 今後トレーサビリティシステムを導入しようとする場合の条件や契機になるとと思われるものについて、該当する番号をすべて選択し○で囲んでください。

(複数選択可)

1	システム構築のための経費問題が解決した場合
2	システム構築のための専門スタッフが確保された場合
3	関係者間の横断的な連携体制（フドチェーンのつながり）が確保された場合
4	コスト転嫁による価格上昇に対する消費者の理解が得られた場合
5	補助金等の公的助成が拡充された場合
6	システム構築時に必要となる情報が充実された場合
7	システムの情報の伝達方法・入力項目等が標準化された場合
8	同業他社の普及が進んだ場合
9	取引先や消費者からの要請があった場合
10	特になし
11	その他（具体的に： ）

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

農林水産省 (秘)

総務省承認	No. 2 5 9 3 2
承認期限	平成17年3月31日まで

指標コード					
局・ 取り まとめ センター	市区 町村 コード	調査区番号	業種コード	客体番号	従業者 規模別 コード

平成16年度食品産業動向調査

トレーサビリティシステムの導入・実施状況等の実態調査票

(食 品 卸 売 業 者 用)

この調査は、農林水産省が統計報告調整法第4条第1項の規定に基づき総務大臣の承認を受けた承認統計として実施するものです。

また、この調査票は秘密扱いとし、統計以外の目的に使うことはありませんので、ありのままを記入してください。

(1) 企 業 名	(フリガナ)	
(2) 記入者所属 部署及び氏名	所属部署	(フリガナ)
		氏 名
(3) 電 話 番 号	代表番号 ()	局 番 (内線)

- ☆ 上記の「記入者所属部署及び氏名」と「電話番号」について記入してください。
- ☆ 上記の企業名に誤りがありましたら、正しい名称に修正してください。
- ☆ 調査票の記入に当たっては、別冊の「調査票の記入の仕方」に従って、黒又は青のボールペンではっきりと記入してください。

問合せ先

名 称 : _____

住 所 : _____

担当者名 : _____

電話番号 : _____ F A X 番号 : _____

貴社において、支社、支店、営業所、店舗等を持つ場合は、企業全体における状況や意向等についてお答えください。

I 貴社の概要について

問1 平成16年中（平成16年1月～16年12月）に到来した直近の決算日前1年間の食品の販売総額（税込み）について、該当する番号を1つ選択して○で囲んでください。

（1つ選択）

1	5,000万円未満	4	10億円～30億円未満
2	5,000万円～1億円未満	5	30億円～50億円未満
3	1億円～10億円未満	6	50億円以上

問2 平成17年1月1日現在の従業者数（常用雇用者）について、該当する番号を1つ選択して○で囲んでください。

（1つ選択）

1	0～4人	4	20～49人
2	5～9人	5	50～99人
3	10～19人	6	100人以上

注：常用雇用者とは、期間を定めずに雇用されている人、若しくは1か月を超える期間を定めて雇用されている人をいいます。

本調査におけるトレーサビリティシステムとは

卸売した食品が、いつ、どこから仕入れ、いつ、どこへ卸売したのか荷姿（ロット等）により特定できることを本調査ではトレーサビリティシステムが導入されていると定義します。

II 貴社におけるトレーサビリティシステムについて（平成17年1月1日現在）

問3 トレーサビリティシステムの現在の導入状況について、該当する番号を1つ選択して○で囲んでください。

（1つ選択）

1	すべての食品に導入している	}	問4へ お進みください。
2	一部の食品に導入している		
3	今後導入する予定である（システムの構築等に着手）		
4	導入を検討中である（導入のため検討中）		
5	導入する予定はない（社内で検討した結果導入の予定はない）	}	6ページの 問14、15のみ お答えください。
6	導入するかわからない（導入するかしないかわからない）		

問4 トレーサビリティシステムを導入した（又は導入しようとする）理由について、該当する番号をすべて選択して○で囲んでください。

（複数選択可）

1	消費者の安全・安心意識の高まりへの対応
2	取引先からの要求への対応
3	貴社の卸売食品の安全性及び品質の向上への対応
4	販売戦略、事業戦略の一環
5	行政施策への対応
6	その他（具体的に：_____）

問5 食品の遡及・追跡について

貴社で卸売している食品のうち、トレーサビリティシステムを導入している（又は導入を予定している）食品についての情報は、どこまでさかのぼること（遡及）が可能で、どこまで追跡（自社が出荷した食品の出荷先の特定）することが可能ですか。（又はどこまで遡及・追跡できるシステムにする予定ですか。）

それぞれ該当する番号を○で囲んでください。

（仕入先及び出荷先が複数該当する場合はそれぞれ回答願います。また、一部の食品で導入している（問3で2に該当）場合は、現在、導入している食品に限って回答願います。）

（複数選択可）

品目			仕入先の遡及範囲				出荷先の追跡範囲			
			1 生産者から直接仕入	生産者から直接仕入以外の仕入			5 小売・外食産業へ直接出荷	小売・外食産業へ直接出荷以外の出荷		
				2 生産者（製造業者）まで	3 直前の仕入先まで	4 その他（2、3以外）の範囲まで		6 小売・外食店等の最終出荷先まで	7 直後の出荷先まで	8 その他（6、7以外）の範囲まで
生鮮食品	米		1	2	3	4	5	6	7	8
	麦		1	2	3	4	5	6	7	8
	野菜類		1	2	3	4	5	6	7	8
	果実類		1	2	3	4	5	6	7	8
	豚肉			2	3	4	5	6	7	8
	鶏肉			2	3	4	5	6	7	8
	鶏卵		1	2	3	4	5	6	7	8
	豆類		1	2	3	4	5	6	7	8
	養殖水産物		1	2	3	4	5	6	7	8
加工食品	農産加工食品	野菜缶詰・瓶詰		2	3	4	5	6	7	8
		果実缶詰・瓶詰		2	3	4	5	6	7	8
		つけもの		2	3	4	5	6	7	8
		野菜冷凍食品		2	3	4	5	6	7	8
		果実冷凍食品		2	3	4	5	6	7	8
		めん・パン類		2	3	4	5	6	7	8
		穀類加工品		2	3	4	5	6	7	8
		菓子類		2	3	4	5	6	7	8
		その他		2	3	4	5	6	7	8
	畜加工食品	肉製品		2	3	4	5	6	7	8
		乳製品		2	3	4	5	6	7	8
		その他		2	3	4	5	6	7	8
	水産加工食品	水産缶詰・瓶詰		2	3	4	5	6	7	8
		ねり製品		2	3	4	5	6	7	8
		水産物冷凍食品		2	3	4	5	6	7	8
		その他		2	3	4	5	6	7	8
	調味料	みそ・醤油		2	3	4	5	6	7	8
		ソース		2	3	4	5	6	7	8
		食酢		2	3	4	5	6	7	8
		その他		2	3	4	5	6	7	8
	動植物油脂			2	3	4	5	6	7	8

注1： 直後の出荷先が小売店や外食産業など直接消費者に渡る出荷先の場合は、「5小売・外食産業へ直接出荷」に該当します。

注2： 「仕入先の遡及範囲」の「2生産者（製造業者）まで」とは生鮮食品の場合は生産者まで、加工食品の場合は製造業者まで遡及できることをいいます。

問6 トレーサビリティシステムで記録・保管している（又は記録・保管しようと考えている）情報の内容について、該当する番号をすべて選択して○で囲んでください。

（複数選択可）

1	卸売食品の栽培管理情報(生鮮のみ)	6	卸売食品の出荷年月日
2	卸売食品の製造過程情報(加工のみ)	7	卸売食品の出荷先名
3	卸売食品の仕入れ年月日	8	卸売食品の出荷量
4	卸売食品の仕入先名	9	卸売食品の輸配送情報
5	卸売食品の仕入れ量	10	その他の情報

注1： 精米過程情報（精米日、精米工場名等）は、製造過程情報に含めることとします。

問7 情報を記録・保管している（又は記録・保管しようと考えている）方法について、該当する番号を1つ選択して○で囲んでください。

（1つ選択）

1	パソコンを活用したシステム	} 問8へお進みください。
2	パソコンを活用したシステムと紙媒体（伝票、帳簿等）の併用	
3	紙媒体（伝票、帳簿等）	

→ 問9へお進みください。

問8 問7で、1又は2と回答された方にお聞きします。記録・保管で用いているシステムの連携している（又は連携を考えている）範囲について、該当する番号を1つ選択して○で囲んでください。

（1つ選択）

1	貴社と仕入先
2	貴社と出荷先
3	貴社と仕入先及び出荷先
4	貴社と仕入先以前の生産段階まで及び出荷先以降の小売段階までの範囲
5	共同では行っていない（連携は行っていない）
6	その他（具体的に： ）

注： システムの連携とは、仕入先、出荷先とネットワークで結ばれ、その範囲では記録・保管しているデータの閲覧等が可能であることをいいます。

問9 記録・保管している（又は記録・保管しようと考えている）情報の、①仕入先からの伝達方法（又は予定している方法）②出荷先への伝達方法（又は予定している方法）について、該当する番号をすべて選択して○で囲んでください。

①仕入先からの伝達方法

（複数選択可）

1	紙による方法（伝票等）
2	包装資材への文字表示（仕入食品への表示）
3	バーコードによる方法
4	二次元コードによる方法
5	電子タグ（ICタグ）による方法
6	その他（具体的に： ）

②出荷先への伝達方法

（複数選択可）

1	紙による方法（伝票等）
2	包装資材への文字表示（出荷食品への表示）
3	バーコードによる方法
4	二次元コードによる方法
5	電子タグ（ICタグ）による方法
6	その他（具体的に： ）

問10 記録・保管している情報の一般消費者への開示（又は開示しようと考えている）状況について、該当する番号をすべて選択して○で囲んでください。

（複数選択可）

1	インターネット上のホームページで開示している
2	ラベル表示（紙）で開示している
3	照会窓口を設け、電話・FAX・Eメール等で開示している
4	その他の方法で開示している（具体的に：_____）
5	開示はしていないが、照会があった場合は開示する
6	開示していない

問3で「3 導入予定」又は「4 検討中」と回答した方は問15へお進みください。

問15へ
お進みください

問3で「1 すべての食品に導入している」又は「2 一部の食品に導入している」と回答した方にお聞きします。

▶ 問11 トレーサビリティシステムの導入後に生じた効果について、該当する番号をすべて選択して○で囲んでください。

（複数選択可）

1	売り上げの増加
2	在庫管理等の管理業務の効率化及び仕入れ経費の削減等
3	取引先との信頼関係強化
4	企業ブランドのイメージアップ
5	従業員の安全意識の向上
6	卸売過程におけるリスク管理の効率化
7	取引先等からの照会に対する迅速かつ効率的な対応
8	特になし
9	わからない
10	その他（具体的に：_____）

▶ 問12 トレーサビリティシステムの導入時に生じた問題点について、該当する番号をすべて選択して○で囲んでください。

（複数選択可）

1	システム構築のための経費
2	システム構築のための取引先との合意取得等
3	システム構築のための情報、知識等の欠如
4	システム構築のための専門スタッフの確保
5	特になし
6	その他（具体的に：_____）

▶ 問13 トレーサビリティシステムの導入後に生じた問題点について、該当する番号をすべて選択して○で囲んでください。

（複数選択可）

1	システム障害の多発
2	取引先と調整及び連携の不足
3	社員の教育・研修等の不足
4	経費の増加
5	特になし
6	わからない
7	その他（具体的に：_____）

問3で「1 すべての食品に導入している」又は「2 一部の食品に導入している」と回答した方への質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

問3で「5予定はない」又は「6わからない」と回答した方にお聞きします。

問14 トレーサビリティシステムの導入の必要性について、該当する番号を1つ選択して○で囲んでください。

(1つ選択)

1	導入の必要性を感じている
2	導入の必要性を感じていない

問3で「3導入予定」、「4検討中」、「5予定はない」、「6わからない」と回答した方にお聞きします。

問15 今後トレーサビリティシステムを導入しようとする場合の条件や契機になると思われるものについて、該当する番号をすべて選択して○で囲んでください。

(複数選択可)

1	システム構築のための経費問題が解決した場合
2	システム構築のための専門スタッフが確保された場合
3	関係者間の横断的な連携体制（フォドチェーンのつながり）が確保された場合
4	コスト転嫁による価格上昇に対する消費者の理解が得られた場合
5	補助金等の公的助成が拡充された場合
6	システム構築時に必要となる情報が充実された場合
7	システムの情報の伝達方法・入力項目等が標準化された場合
8	同業他社の普及が進んだ場合
9	取引先や消費者からの要請があった場合
10	特になし
11	その他（具体的に： ）

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

農林水産省 (秘)

総務省承認	No. 2 5 9 3 3
承認期限	平成17年3月31日まで

指標コード					
局・ 取り まとめ センター	市区 町村 コード	調査区番号	業種コード	客体番号	従業者 規模別 コード

平成16年度食品産業動向調査

トレーサビリティシステムの導入・実施状況等の実態調査票

(食 品 小 売 業 者 用)

この調査は、農林水産省が統計報告調整法第4条第1項の規定に基づき総務大臣の承認を受けた承認統計として実施するものです。

また、この調査票は秘密扱いとし、統計以外の目的に使うことはありませんので、ありのままを記入してください。

(1) 企 業 名	(フリガナ)	
(2) 記入者所属 部署及び氏名	所属部署	(フリガナ)
		氏 名
(3) 電 話 番 号	代表番号 ()	局 番 (内線)

- ☆ 上記の「記入者所属部署及び氏名」と「電話番号」について記入してください。
- ☆ 上記の企業名に誤りがありましたら、正しい名称に修正してください。
- ☆ 調査票の記入に当たっては、別冊の「調査票の記入の仕方」に従って、黒又は青のボールペンではっきりと記入してください。

問合せ先

名 称 : _____

住 所 : _____

担当者名 : _____

電話番号 : _____ F A X 番号 : _____

貴社において、支社、支店、営業所、店舗等を持つ場合は、企業全体における状況や意向等についてお答えください。

I 貴社の概要について

問1 平成16年中（平成16年1月～16年12月）に到来した直近の決算日前1年間の食品の販売総額（税込み）について、該当する番号を1つ選択して○で囲んでください。

（1つ選択）

1 5,000万円未満	4 10億円～30億円未満
2 5,000万円～1億円未満	5 30億円～50億円未満
3 1億円～10億円未満	6 50億円以上

問2 平成17年1月1日現在の従業者数（常用雇用者）について、該当する番号を1つ選択して○で囲んでください。

（1つ選択）

1 0～4人	4 20～49人
2 5～9人	5 50～99人
3 10～19人	6 100人以上

注：常用雇用者とは、期間を定めずに雇用されている人、若しくは1か月を超える期間を定めて雇用されている人をいいます。

本調査におけるトレーサビリティシステムとは

小売した食品が、いつ、どこから仕入れ、いつ、小売したのか特定できることを本調査ではトレーサビリティシステムが導入されていると定義します。

II 貴社におけるトレーサビリティシステムについて（平成17年1月1日現在）

問3 トレーサビリティシステムの現在の導入状況について、該当する番号を1つ選択して○で囲んでください。

（1つ選択）

1 <u>すべての食品</u> に導入している	問4へ お進みください。
2 <u>一部の食品</u> に導入している	
3 今後 <u>導入する予定</u> である（システムの構築等に着手）	
4 導入を <u>検討中</u> である（導入のため検討中）	
5 導入する <u>予定はない</u> （社内で検討した結果導入の予定はない）	6ページの 問15、16のみ お答えください。
6 導入するか <u>わからない</u> （導入するかしないかわからない）	

問4 トレーサビリティシステムを導入した（又は導入しようとする）理由について、該当する番号をすべて選択して○で囲んでください。

（複数選択可）

1 消費者の安全・安心意識の高まりへの対応
2 取引先からの要求への対応
3 貴社の小売食品の安全性及び品質の向上への対応
4 販売戦略、事業戦略の一環
5 行政施策への対応
6 その他（具体的に：_____）

問5 食品の遡及について

貴社で販売している食品のうち、トレーサビリティシステムを導入している（又は導入を予定している）食品の情報（流通されてきた経路）は、どこまでさかのぼること（遡及）が可能ですか。（又はどこまでさかのぼれるシステムにしようとお考えですか。）

それぞれ該当する番号を○で囲んでください。

（仕入先が複数該当する場合はそれぞれ回答願います。また、一部の食品で導入している（問3で2に該当）場合は、現在、導入している食品に限って回答願います。）

（複数選択可）

品 目			仕 入 先 の 遡 及 範 囲			
			1 生産者から直接仕入	生産者から直接仕入以外の仕入		
				2 生産者（製造業者）まで	3 直前の仕入先まで	4 その他（2、3以外）の範囲まで
生 鮮 食 品	米		1	2	3	4
	麦		1	2	3	4
	野菜類		1	2	3	4
	果実類		1	2	3	4
	豚肉			2	3	4
	鶏肉			2	3	4
	鶏卵		1	2	3	4
	豆類		1	2	3	4
	養殖水産物		1	2	3	4
加 工 食 品	農 産 加 工 食 品	野菜缶詰・瓶詰		2	3	4
		果実缶詰・瓶詰		2	3	4
		つけもの		2	3	4
		野菜冷凍食品		2	3	4
		果実冷凍食品		2	3	4
		めん・パン類		2	3	4
		穀類加工品		2	3	4
		菓子類		2	3	4
		その他		2	3	4
	畜 加 工 食 品	肉製品		2	3	4
		乳製品		2	3	4
		その他		2	3	4
	水 産 加 工 食 品	水産缶詰・瓶詰		2	3	4
		ねり製品		2	3	4
		水産物冷凍食品		2	3	4
		その他		2	3	4
	調 味 料	みそ・醤油		2	3	4
		ソース		2	3	4
		食酢		2	3	4
		その他		2	3	4
	動植物油脂			2	3	4

注：「仕入先の遡及範囲」の「2生産者（製造業者）まで」とは生鮮食品の場合は生産者まで、加工食品の場合は製造業者まで遡及できることをいいます。

問6 トレーサビリティシステムで記録・保管している（又は記録・保管しようと考えている）情報の内容について、該当する番号をすべて選択して○で囲んでください。

（複数選択可）

1	小売食品の栽培管理情報(生鮮のみ)
2	小売食品の製造過程情報(加工のみ)
3	小売食品の仕入れ年月日
4	小売食品の仕入れ先名
5	小売食品の仕入れ量

6	小売食品の保存方法
7	小売年月日
8	小売食品の輸配送情報
9	その他の情報

注： 精米過程情報（精米日、精米工場名等）は、製造過程情報に含めることとします。

問7 情報を記録・保管している（又は記録・保管しようと考えている）方法について、該当する番号を1つ選択して○で囲んでください。

（1つ選択）

1	パソコンを活用したシステム
2	パソコンを活用したシステムと紙媒体（伝票、帳簿等）の併用
3	紙媒体（伝票、帳簿等）

問8へお進みください。

問9へお進みください。

問8 問7で、1又は2と回答された方にお聞きします。記録・保管で用いているシステムの連携している（又は連携を考えている）範囲について、該当する番号を1つ選択して○で囲んでください。

（1つ選択）

1	貴社と仕入先
2	貴社と生産段階以降の流通段階との範囲
3	貴社と生産段階までの範囲
4	共同では行っていない（連携は行っていない）
5	その他（具体的に： ）

注： システムの連携とは、仕入先、出荷先とネットワークで結ばれ、その範囲では記録・保管しているデータの閲覧等が可能であることをいいます。

問9 記録・保管している（又は記録・保管しようと考えている）情報の、仕入先からの伝達方法（又は予定している方法）について、該当する番号をすべて選択して○で囲んでください。

（複数選択可）

1	紙による方法（伝票等）
2	包装資材への文字表示（仕入・小売食品への表示）
3	バーコードによる方法
4	二次元コードによる方法
5	電子タグ（I Cタグ）による方法
6	その他（具体的に： ）

問10 記録・保管している情報の一般消費者への開示（又は開示しようと考えている）状況について、該当する番号をすべて選択して○で囲んでください。

（複数選択可）

1	タッチパネルで開示している
2	インターネット上のホームページで開示している
3	店頭表示やラベル表示（紙）で開示している
4	照会窓口を設け、電話・FAX・Eメール等で開示している
5	その他の方法で開示している（具体的に：_____）
6	開示はしていないが、照会があった場合は開示する
7	開示していない

問3で「3導入予定」又は「4検討中」と回答した方は問16へお進みください。

問16へ
お進みください

問3で「1すべての食品に導入している」又は「2一部の食品に導入している」と回答した方にお聞きします。

▶ 問11 トレーサビリティシステムの導入後に生じた効果について、該当する番号をすべて選択して○で囲んでください。

（複数選択可）

1	売り上げの増加
2	在庫管理等の管理業務の効率化及び仕入れ経費の削減等
3	取引先との信頼関係強化
4	企業ブランドのイメージアップ
5	従業員の安全意識の向上
6	消費者等からの照会に対する迅速かつ効率的な対応
7	特になし
8	わからない
9	その他（具体的に：_____）

▶ 問12 トレーサビリティシステムの導入時に生じた問題点について、該当する番号をすべて選択して○で囲んでください。

（複数選択可）

1	システム構築のための経費
2	システム構築のための取引先との合意取得等
3	システム構築のための情報、知識等の欠如
4	システム構築のための専門スタッフの確保
5	特になし
6	その他（具体的に：_____）

▶ 問13 トレーサビリティシステムの導入後に生じた問題点について、該当する番号をすべて選択して○で囲んでください。

（複数選択可）

1	システム障害の多発
2	取引先と調整及び連携の不足
3	社員の教育・研修等の不足
4	経費の増加
5	特になし
6	わからない
7	その他（具体的に：_____）

問3で「1すべての食品に導入している」又は「2一部の食品に導入している」と回答した方にお聞きします。

問14 問5で1（生産者から直接仕入）又は2（生産者まで遡及可能）と回答した品目のうち生鮮食品及び加工度の低い加工食品^{（注1）}についてお聞きします。

問合せ等により生産流通履歴を遡及する必要があるが生じた場合、その食品の生産者^{（注2）}を24時間以内で特定することが可能な品目数の割合を記入してください。

生鮮食品	加工度の低い加工食品
<div style="border: 1px solid black; width: 60px; height: 30px; margin: 0 auto; position: relative;"> <div style="position: absolute; left: 50%; transform: translate(-50%, 50%); border-left: 1px dashed black; width: 1px; height: 100%;"></div> </div> <div style="border: 1px solid black; width: 60px; height: 30px; margin: 0 auto; position: relative;"> <div style="position: absolute; left: 50%; transform: translate(-50%, 50%); border-left: 1px dashed black; width: 1px; height: 100%;"></div> </div> <div style="border: 1px solid black; width: 60px; height: 30px; margin: 0 auto; position: relative;"> <div style="position: absolute; left: 50%; transform: translate(-50%, 50%); border-left: 1px dashed black; width: 1px; height: 100%;"></div> </div> <div style="border: 1px solid black; width: 60px; height: 30px; margin: 0 auto; position: relative;"> <div style="position: absolute; left: 50%; transform: translate(-50%, 50%); border-left: 1px dashed black; width: 1px; height: 100%;"></div> </div> <div style="border: 1px solid black; width: 60px; height: 30px; margin: 0 auto; position: relative;"> <div style="position: absolute; left: 50%; transform: translate(-50%, 50%); border-left: 1px dashed black; width: 1px; height: 100%;"></div> </div>	<div style="border: 1px solid black; width: 60px; height: 30px; margin: 0 auto; position: relative;"> <div style="position: absolute; left: 50%; transform: translate(-50%, 50%); border-left: 1px dashed black; width: 1px; height: 100%;"></div> </div> <div style="border: 1px solid black; width: 60px; height: 30px; margin: 0 auto; position: relative;"> <div style="position: absolute; left: 50%; transform: translate(-50%, 50%); border-left: 1px dashed black; width: 1px; height: 100%;"></div> </div> <div style="border: 1px solid black; width: 60px; height: 30px; margin: 0 auto; position: relative;"> <div style="position: absolute; left: 50%; transform: translate(-50%, 50%); border-left: 1px dashed black; width: 1px; height: 100%;"></div> </div> <div style="border: 1px solid black; width: 60px; height: 30px; margin: 0 auto; position: relative;"> <div style="position: absolute; left: 50%; transform: translate(-50%, 50%); border-left: 1px dashed black; width: 1px; height: 100%;"></div> </div> <div style="border: 1px solid black; width: 60px; height: 30px; margin: 0 auto; position: relative;"> <div style="position: absolute; left: 50%; transform: translate(-50%, 50%); border-left: 1px dashed black; width: 1px; height: 100%;"></div> </div>
割	割

注1： 加工度の低い加工食品とは、「加工食品品質表示基準」で「原料原産地名」を表示することが定められているものをいい、主に乾燥した農畜水産物、塩蔵した農畜水産物、調味液を混合した農畜水産物、数種類の農畜水産物を混合したもの等をいいます。

注2： この設問において生産者とは、生鮮食品については生産者又は集出荷団体等をいい、加工度の低い加工食品については、主な原材料の生産者又は集出荷団体等をいいます。

問3で「1すべての食品に導入している」又は「2一部の食品に導入している」と回答した方への質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

問3で「5予定はない」又は「6わからない」と回答した方にお聞きします。

問15 トレーサビリティシステムの導入の必要性について、該当する番号を1つ選択して○で囲んでください。

（1つ選択）

1	導入の必要性を感じている
2	導入の必要性を感じていない

問3で「3導入予定」、「4検討中」、「5予定はない」、「6わからない」と回答した方にお聞きします。

問16 今後トレーサビリティシステムを導入しようとする場合の条件や契機になるとと思われるものについて、該当する番号をすべて選択して○で囲んでください。

（複数選択可）

1	システム構築のための経費問題が解決した場合
2	システム構築のための専門スタッフが確保された場合
3	関係者間の横断的な連携体制（フードチェーンのつながり）が確保された場合
4	コスト転嫁による価格上昇に対する消費者の理解が得られた場合
5	補助金等の公的助成が拡充された場合
6	システム構築時に必要となる情報が充実された場合
7	システムの情報の伝達方法・入力項目等が標準化された場合
8	同業他社の普及が進んだ場合
9	取引先や消費者からの要請があった場合
10	特になし
11	その他（具体的に： ）

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

農林水産省 (秘)

総務省承認	No. 2 5 9 3 4
承認期限	平成17年3月31日まで

指標コード		
局・ 取り まとめ センター	市区 町村 コード	客体番号

平成16年度食品産業動向調査
トレーサビリティシステムの導入・実施状況等の実態調査票
 (農 業 協 同 組 合 用)

この調査は、農林水産省が統計報告調整法第4条第1項の規定に基づき総務大臣の承認を受けた承認統計として実施するものです。

また、この調査票は秘密扱いとし、統計以外の目的に使うことはありませんので、ありのままを記入してください。

(1) 組 合 名	(フリガナ)	
(2) 記入者所属 部署及び氏名	所属部署	(フリガナ)
		氏 名
(3) 電 話 番 号	代表番号 () 局	番 (内線)

- ☆ 上記の「記入者所属部署及び氏名」と「電話番号」について記入してください。
- ☆ 上記の組合名に誤りがありましたら、正しい名称に修正してください。
- ☆ 調査票の記入に当たっては、別冊の「調査票の記入の仕方」に従って、黒又は青のボールペンではっきりと記入してください。

問合せ先

名 称 : _____

住 所 : _____

担当者名 : _____

電話番号 : _____ F A X 番号 : _____

以下設問については、貴組合(支所・支店を含む)における、平成17年1月1日現在の状況や意向等についてお答えください。

問 1 貴組合で集出荷している品目（食品）について、該当する番号をすべて選択して○で囲んでください。
(複数選択可)

1	2	3	4	5	6
米	麦	野菜類	果実類	豆類	その他

問 2 栽培管理情報の記録・保管状況について、品目ごとに該当する番号を1つ選択して○で囲んでください。また、4「現在は、記録・保管していない」と回答した品目の今後の意向について、品目ごとに該当する番号を1つ選択して○で囲んでください。

品 目	生産者名を記録・保管している	生産者名以外の栽培管理情報						
		集出荷しているすべてについて何らかの情報を記録・保管している	集出荷している一部について何らかの情報を記録・保管している	現在は、記録・保管していない	今後の意向（1つ選択）			
					今後行う予定	検討中	予定はない	わからない
米	1	2	3	4	5	6	7	8
麦	1	2	3	4	5	6	7	8
野菜類	1	2	3	4	5	6	7	8
果実類	1	2	3	4	5	6	7	8
豆 類	1	2	3	4	5	6	7	8
そ の 他 ()	1	2	3	4	5	6	7	8

注 1：「その他」には主な品目名を記入してください。

問 3 記録・保管している栽培管理情報について、該当する番号をすべて選択して品目ごとに○で囲んでください。（回答後は、問5にお進みください）
(複数選択可)

品 目	記録・保管している栽培管理情報			
	① 生産概要	② 防除履歴	③ 施肥履歴	④ その他 [具体的に]
米	1	2	3	4 []
麦	1	2	3	4 []
野菜類	1	2	3	4 []
果実類	1	2	3	4 []
豆 類	1	2	3	4 []
その他	1	2	3	4 []

注 2：栽培管理情報とは、
① 生産概要・品種名、産地名、
は種日、収穫日等
② 防除履歴・薬剤名、
施用日、散布量等
③ 施肥履歴・資材名、
施用日、施用量等
等の情報をいいます。

問 4 問 2 で、貴組合で集出荷している品目のいずれにおいても、栽培管理情報の記録・保管していないと回答された方だけにお願いします。（問2で2及び3に1つも○がない方）
今後、栽培管理情報の記録・保管の整備を図っていく場合の条件や契機になるとと思われるものについて、該当する番号をすべて選択して○で囲んでください。（回答後は、問5にお進みください）
(複数選択可)

1	システムに係る経費負担の問題が解決した場合
2	システムに係る専門スタッフが確保された場合
3	生産者段階の栽培管理情報の記帳等の労力軽減が図られた場合
4	組合員の合意形成（情報の記録活動の理解）が図られた場合
5	栽培管理情報の入力項目等が標準化された場合
6	上部団体による意思決定がされた場合
7	その他（具体的に： ）

この調査において、栽培管理情報とは生産概要（品種名、産地名、は種・収穫日等）、防除履歴（薬剤名、施用日、散布量等）、施肥履歴（資材名、施用日、施用量等）等の情報をいいます。

問5 栽培管理情報（生産者名を含む）の記録・保管方法について、該当する番号を1つ選択して○で囲んでください。

（1つ選択）

1	パソコンを活用したシステム
2	パソコンを活用したシステムと紙媒体（日誌、帳簿等）の併用
3	紙媒体（日誌、帳簿等）

問6 記録・保管している栽培管理情報（生産者名を含む）を一般消費者への開示状況について、該当する番号をすべて選択して○で囲んでください

（複数選択可）

1	インターネット上のホームページで開示している
2	ラベル表示（紙）で開示している
3	照会窓口を設け、電話・FAX・Eメール等で開示している
4	その他の方法で開示している（具体的に：_____）
5	開示はしていないが、照会があった場合は開示する
6	開示していない

問7 貴組合では出荷先に情報を提供していますか。該当する番号を1つ選択して○で囲んでください。

（1つ選択）

1	生産者名のみを提供（一部の品目でも可）
2	なんらかの栽培管理情報を提供（一部の品目でも可）
3	提供していない

問8へお進みください。

問10へお進みください。

問8 問7で、1又は2と回答された方にお聞きます。出荷先に栽培管理情報（生産者名を含む）を提供している品目は、どこまで追跡することが可能ですか。

生産者名のみを提供している場合と、生産者名以外の栽培管理情報も提供している場合に
分けて該当する番号をすべて選択して○で囲んでください。

（複数選択可）

品 目	出荷先に提供している情報	出荷先がわかる範囲（追跡の可能な範囲）			
		1 小売・外食産業 へ直接出荷	小売・外食産業以外へ出荷		
			2 小売・外食産業 等の最終出荷先 まで	3 直後の出荷先ま で	4 その他（2、3以 外）の範囲まで
米	生産者名のみ	1	2	3	4
	栽培管理情報	1	2	3	4
麦	生産者名のみ	1	2	3	4
	栽培管理情報	1	2	3	4
野菜類	生産者名のみ	1	2	3	4
	栽培管理情報	1	2	3	4
果実類	生産者名のみ	1	2	3	4
	栽培管理情報	1	2	3	4
豆類	生産者名のみ	1	2	3	4
	栽培管理情報	1	2	3	4
その他	生産者名のみ	1	2	3	4
	栽培管理情報	1	2	3	4

注1：「生産者名のみ」とは、出荷先に出荷ロット等とともに農協名及び生産者名のみを提供していることをいいます。

注2： 直後の出荷先が小売店や外食産業など直接消費者に渡る出荷先の場合は、「1「小売・外食産業へ直接出荷」」に該当します。

注3： 追跡の範囲が複数ある場合は、それぞれに○を付けてください。

注4： 一部の品目でも追跡の範囲に該当する場合は、それぞれに○を付けてください。

問 9 問 7 で、1 又は 2 と回答された方にお聞きします。

出荷先に栽培管理情報（生産者名を含む）を提供できる仕組みを行うことにした理由について、該当する番号をすべて選択して○で囲んでください。

（複数選択可）

1	消費者の安全・安心意識の高まりへの対応
2	貴農協の出荷品目の安全性及び品質の向上への対応
3	販売戦略、事業戦略の一環（出荷品目のイメージアップ）
4	取引先からの要求への対応
5	行政施策への対応
6	その他（具体的に： ）

問10 問 7 で、1 又は 2 と回答された方にお聞きします。

出荷先に情報を提供する方法について、該当する番号をすべて選択して○で囲んでください。

（複数選択可）

1	紙による方法（伝票等）
2	包装資材への文字表示（出荷物への表示）
3	バーコードによる方法
4	二次元コードによる方法
5	電子タグ（I C タグ）による方法
6	その他の方法（具体的に： ）

問11 問 7 で、3 と回答された方にお聞きします。

今後、出荷先に情報を提供し追跡が行える仕組みの整備を図っていく場合の条件や契機になるとと思われるものについて、該当する番号をすべて選択して○で囲んでください。

（複数選択可）

1	機器整備等のための経費負担の問題が解決した場合
2	仕組みを構築するための専門スタッフが確保された場合
3	同業他団体とのシステムの連携が確保された場合
4	出荷先や消費者からの理解・協力が得られた場合
5	上部団体による意思決定がされた場合
6	その他（具体的に： ）

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。